

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

種別：	小規模住居型児童養育事業
①第三者評価機関名	
（一社）社会福祉事業評価機構	

②施設名等

名称：	稲垣ファミリーホーム
施設長氏名：	稲垣 りつ子
定員：	6名
所在地(都道府県)：	広島県
URL：	https://inagaki-familyhome.jimdo.com/

③実施調査日

開始日	2023/1/7
評価結果確定日	2023/2/15

④総評

<p>【特に評価が高い点】</p> <p>①社会資源を最大限に活用し、子ども達に様々な体験を与えることのできる環境 施設長のネットワークを最大限に活かし、数多くの支援者の方々の参画により、子どもたちが様々な経験・体験をする機会が確保されています。習い事として、習字やピアノ、絵画などがあり、また支援者の援助により、釣りや動物に触れ合ったり、バーベキューなど様々な活動機会のみならず、高等部修了後の就労に対して理解を示し、雇用してもらうなど、子ども達の最善の利益に繋がっています。また支援や養育方針について迷った時にも、支援者の方々に相談できる環境もあります。</p> <p>②地域貢献をはじめとした施設の有する機能の還元 施設長および職員による地域での講演活動や、利用者以外の一般家庭の子どもに対しても拠り所となる支援を提供するなど、枠に捕われない形で地域のニーズに応じておられます。子ども達の友人や保護者が頻繁に出入りされるなど、地域に開かれた運営を実践されています。また、外国の孤児院に寄付などの援助も行われています。</p> <p>③里親としての役割を意識した家庭的養育の実践 里親としての役割を意識した家庭的養育により、温かみのある子育てを実践されています。訪問調査の際に年少児が施設長に「お母さん」と頼りずりをしながら甘える光景が印象的でした。「少しでも多くの子どもの幸せを与えたい」という思いから、どんな困難なケースも出来る限り受け入れを行っておられます。</p> <p>【今後の課題や改善が求められる点】</p> <p>①後継者育成 今後の継続性を鑑み、後継者の育成について考え始める時期となっているようです。</p> <p>②各種書類の文書化 マニュアル関係など様々な書類に関して、概ね揃えておられることが確認できました。しかし、理念・基本方針などが文書化に至っていない点など、重要な内容の書面化など今後の取り組みに期待いたします。</p>
--

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>初めての第3者評価依頼でしたので戸惑いました。「第一種福祉事業」と「第二種福祉事業」での審査評価が同じと聴き、些か厳しく思いました。職員の人数や措置費の額や、施設は定員払い（ファミリーホームは現員払い）等々、差が大きいのですから審査評価も違っていても良いのではないかと思います。事務仕事に追われ肝心の子育てが疎かになっては本末転倒だと思います。強制や義務では無い第3者評価ではありますが、より多くのファミリーホーム（第二種福祉事業）が依頼できる評価体制になって欲しいです。</p>

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者 評価結果
①	理念が明文化されている。	c
②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) ホームページにおいて、社会的擁護としての役割表明などについて詳細に書かれています。しかしながら、理念や基本方針としての記述はありませんので、今後の取り組みに期待いたします。</p>		

I-1 理念・基本方針

(2) 理念や基本方針が周知されている。		第三者 評価結果
①	理念や基本方針が職員に周知されている。	b
②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 文書化はされていませんが、施設の運営方針に対する共通認識は図られているものと思われます。また、子どもや保護者に対しても、その方針を時間をかけて分かりやすく説明するよう努めておられます。</p>		

I-2 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	中・長期計画が策定されている。	c
②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 中・長期計画については、策定されていないとの事でした。</p>		

I-2 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果
①	事業計画の策定が組織的に行われている。	c
②	事業計画が職員に周知されている。	c
③	事業計画が利用者等に周知されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設の示すべき方向性に対する共通認識は図られていると思われます。まずは、単年度の事業計画の策定に着手して戴くことを期待いたします。</p>		

I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(1) ホーム長（管理者）の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	ホーム長（管理者）自らの役割と責任を他の職員に対して表明している。	a
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設長は、自ら率先して研修会などに参加され、施設長としての役割や責任の周知に努めておられます。</p>		

I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(2) ホーム長（管理者）のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果
①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設長は施設内外問わず、精力的に活動され、経営の改善に向けた努力をされています。ZOOMなどを活用した、里親や小規模住居型児童養育事業による会議などの機会を通しての活動も行われています。</p>		

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
③	外部監査が実施されている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 経営状況の分析については、会計士などから指導を仰ぎながら行われています。様々な研修や交流を通して、社会福祉の動向の把握に努められています。</p>		

II-2 人材の確保・養成

(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	c
②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 現状、職員の確保はできている状況です。有資格者の配置といった観点では保育士、看護師の有資格者がおられます。</p>		

II-2 人材の確保・養成

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果
①	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 残業などもなく、職員が働きやすい体制整備は出来ています。また、人的資源を活用し養育者らが相談できる体制も確保されています。</p>		

II-2 人材の確保・養成

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 研修の機会の確保には努められています。また、専門性を担保する社会資源の確保も出来ていると思われれます。</p>		

II-2 人材の確保・養成

(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者 評価結果
①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実習生の受け入れは行われていません。		

II-3 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 毎月一回避難訓練が必須要件となっています。そのなかで、子どもたちがマンネリ化しないように、早朝に訓練を行ったり、避難場所まで移動して何分かかるか？時には、動画を見せて事故防止を働きかけるなど創意工夫をされています。 また、食品の備蓄に関しては、3日間を想定して消費期限もリスト化され、適切に管理されています。		

II-4 地域との交流と連携

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
②	事業者が有する機能を地域に還元している。	a
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 冒頭で述べた通り、地域との結びつきも強く、講演活動やボランティアの受け入れなども精力的に行われています。		

II-4 地域との交流と連携

(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果
①	必要な社会資源を明確にしている。	a
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 関係機関のリスト化は書面を通して確認できました。 学校や県の子ども家庭センターとは密に連絡を取り合っておられます。地域の児童デイサービス事業所など様々な関係機関との連携を行っておられます。		

II-4 地域との交流と連携

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果
①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 計画には落とし込めていませんが、様々な福祉ニーズに向き合って活動されています。 一般家庭の子どもに困りごとがあれば、受け入れを行い、子ども食堂のような役割も担っておられます。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設長が率先して利用者を尊重したサービスが提供される体制が確立しています。 この点について、文書化されるなどの今後の取り組みに期待いたします。</p>		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(2) 利用者満足の向上に努めている。		第三者 評価結果
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 現状、利用する子どもたちの理解が難しい状況のなか、日々の家庭的養育の実践のなかで、汲み取っておられます。 意見箱の設置も確認できました。</p>		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) オレンジノートを活用して、分かりやすく時間をかけて説明されています。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者 評価結果
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	c
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 今回が初めての第三者評価の受審となります。 今後、共通評価基準や内容評価基準に準拠して、自己評価を定期的に行われることをお勧めします。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 里親としての姿勢で家庭的養育が実践されています。今後この基本姿勢を文書化され、標準的な実施方法が明示されることを期待いたします。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果
①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	b
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 定期的に職員会議が行われていますが、小規模な家庭的養育の中で日々の支援を通して情報の共有が行われています。また、支援者の方からお話を伺うことができました。子どもたちの支援方針に迷っている際に、支援者の方々に相談できる体制があることも理解できました。</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者 評価結果
①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) オレンジノートを用いての説明やパソコンでの画像を使用するなどして、それぞれの子どもに対して分かりやすく説明されています。</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		第三者 評価結果
①	事業者の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 文書化などはされていないが、詳細に情報提供され、サービスの継続性に配慮した対応に努められています。</p>		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者 評価結果
①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) アセスメントシートは使用してはもらっていませんが、会議などで協議を重ね、子どもたちのニーズを明確化されています。</p>		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果
①	サービス実施計画を適切に策定している。	b
②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) サービス計画書は確認させていただきました。評価については、具体的にいつ評価されたのかなど、より明確な記述が必要かと思われます。</p>		

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重		第三者 評価結果
①	子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考え、ホームにおける生活改善ができるよう取り組んでいる。	a
②	ホームでの生活及び援助について事前に説明し、子どもが主体的に決定できるよう支援している。	a
③	多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるよう支援している。	a
④	多くの人たちとのふれあいを通し、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生できるよう支援している。	a
⑤	子どもの発達に応じて、本人に出生や生い立ち、家族の状況等を適切に知らせている。	a
⑥	被措置児童等虐待防止と早期発見に取り組んでいる。	a
⑦	子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 様々な生活課題を抱えた子どもたちに、それぞれ可能なレベルでの自立を鑑みて、豊富な社会資源を活かし、体験・経験の積み重ねができるよう支援されています。 また、子どもが不登校などの状況になった場合にも、無理強いなどせず見守って登校できるようになった事例などもあります。</p>		

A-2 日常生活支援サービス

2-(1) 支援の基本		第三者 評価結果
①	子どもと養育者らの信頼関係を構築し、個々の子どもの発達段階や課題に考慮し援助している。	a
②	子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子ども達は職員のことを、何でも話し合える家族と感じており、家庭的雰囲気の中で養育されています。 また、子どもと保護者が触れ合う機会の確保にも努められており、保護者だけでなく保護者の援助者やその子どもなども交えて交流する機会をつくり、信頼関係の構築に努められています。</p>		

2-(2) 食生活		第三者 評価結果
①	食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも配慮している。	a
②	発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を行っている。	a
③	子どもの生活時間にあわせて食事の時間を設定している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 食生活において、家族の「雰囲気」損なわないようにしておられます。また、無農薬や成分無調整の食材にこだわって提供されています。</p>		

2-(3) 衣生活		第三者 評価結果
①	衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している。	a
②	子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもに好きな服が選択できるよう支援されています。また、小学校1年生からは、自分の洗濯物は自分で畳んで筆筒に入れるなど、衣生活について取り組まれています。</p>		

2 - (4) 住生活		第三者 評価結果
①	住居全体が生活の場としての安全性や快適さを配慮したものになっている。	a
②	発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 特性のある子どもたちが多く、なかなか習慣化しないのが現状であるが、根気よく働きかけ習慣が定着できるよう支援されています。</p>		

2 - (5) 衛生管理、健康管理、安全管理		第三者 評価結果
①	医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、適切に対応している。	b
②	発達段階に応じ、身体の健康を自己管理できるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 毎日体温測定され、健康チェックされ、また長年付き合いのある近医には、どのような事でも相談できる体制にあるようです。理美容に関しては、隣が理美容院であり定期的に利用されています。</p>		

2 - (6) 問題行動に対する対応		第三者 評価結果
①	ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようホーム全体に徹底している。	a
②	子どもの問題行動に適切に対応している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもたちは、職員に対して家族と捉えており、注意しても聴く耳を持たない状況もあるようです。そのような状況においても、豊富な人的資源である支援者のなかで、子どもたちが尊敬する支援者の方に話をしてもらうことで、適切な行動が取れるようになることもあるようです。ここでも、豊富な人的資源を有効活用されています。</p>		

2 - (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活		第三者 評価結果
①	子どもが余暇を有効に活用できるよう配慮している。	a
②	買い物や外出、旅行などは、子どもとともに計画し、実施している。	a
③	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	b
④	ホームが地域に開かれ子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 豊富な社会資源の活用により、子どもたちが自分の好みにあった活動の提供が可能となっています。年に一回の旅行なども実施されています。また、子ども達の友達もホームに遊びに来やすい環境づくりなどもされており、友人や地域との関係づくりにも配慮されています。</p>		

2 - (8) 学習支援、進路指導等		第三者 評価結果
①	学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	b
②	学校との連携により子どもの状況に応じた支援を行っている。	b
③	学校を卒業する子どもの進路について、幅広い選択肢のもと、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 学習支援に関しては、子どもたちの能力に応じて、家庭教師をつけたり、放課後等デイサービスと連携を図るなどして、最善の利益に対する支援を行ってられます。豊富な人的資源・社会資源によって、様々なアプローチが供給できる体制となっています。また、進路決定後に失敗した事例のフォローアップや、退所後かなり経過しているケースでの対応例などについてもお聴かせいただき、大変なご尽力と痛感いたしました。</p>		

2 - (9) メンタルヘルス		第三者 評価結果
①	虐待を受けた子どもなど心理的なケアを必要とする場合は、心理的な支援ができるよう関係機関と連携している。	a
②	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性について正しい知識を得る機会を設けている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 児童相談所など関係各機関と連携して、子どもたちの心理的なケアを行っておられます。また、性教育に関しては、様々な媒体を用いて必要に応じて説明されています。</p>		

2 - (10) 家族とのつながり		第三者 評価結果
①	児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制づくりができています。	a
②	関係機関と連携し、子どもと家族の関係づくりのために面会、外出、一時帰省などの機会を保障している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実親に関しても、何らかの問題があるケースも多いのが実際であるが、実親にもホームに来てもらって一緒に行事を行うなど、関係づくりのための働きかけを行っておられます。</p>		